



LTO 集合型
例外サイト設定手順書

■ はじめに

1U LTO 集合型装置（N8160-82/83/87/88/89/92）では、リモート管理インタフェース機能において Java アプレットを使用しております。

Java の Update により、セキュリティ機能の強化が図られており、Java7 Update51（7u51）以降、リモート管理インタフェース機能の使用が制限される場合があります。

継続してリモート管理インタフェース機能を使用するには、セキュリティ設定の変更（継続している装置の IP アドレスを例外サイトとして登録）が必要になります。

本手順書は、例外サイト（Exception Site List）への登録手順について記載しています。

【対象環境】

- Java : Java 7 Update 51（7u51）以降

【改版履歴】

Rev.	日付	主な改版内容
1	2014/01/15	• 初版制定
2	2014/01/16	• 日本語記載の画面に修正
3	2014/02/12	• 例外設定後の装置リモート管理インタフェースへのアクセス方法を追記

目 次

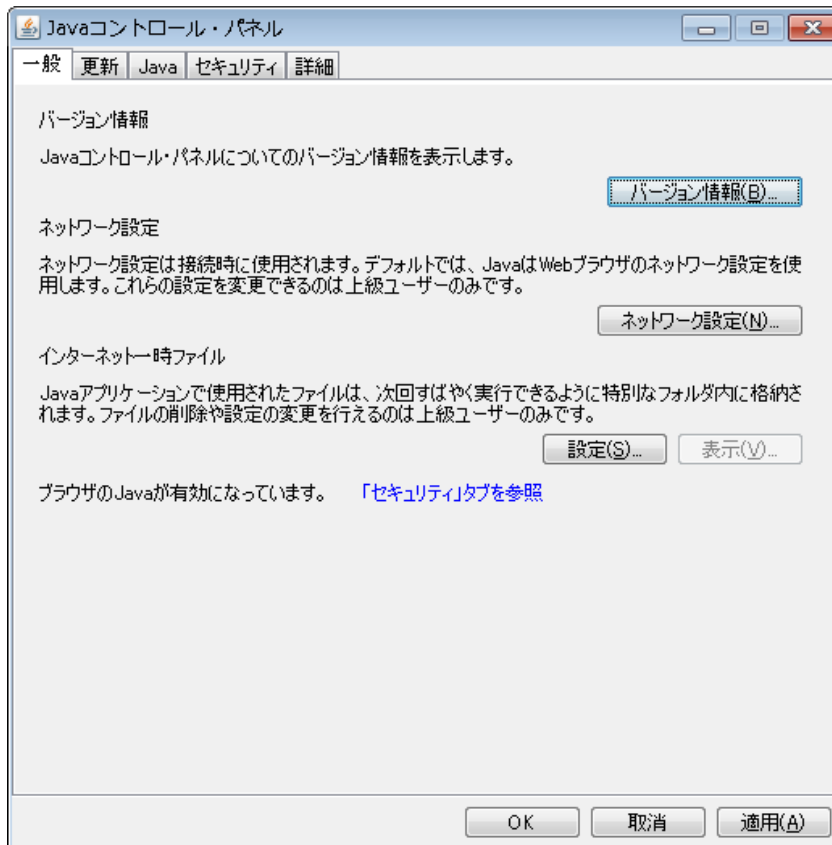
■ はじめに	2
1 Exception Site List 設定	4

1 例外サイト・リスト設定

接続対象の装置の IP アドレスを Java の例外サイト・リストへ追加設定します。

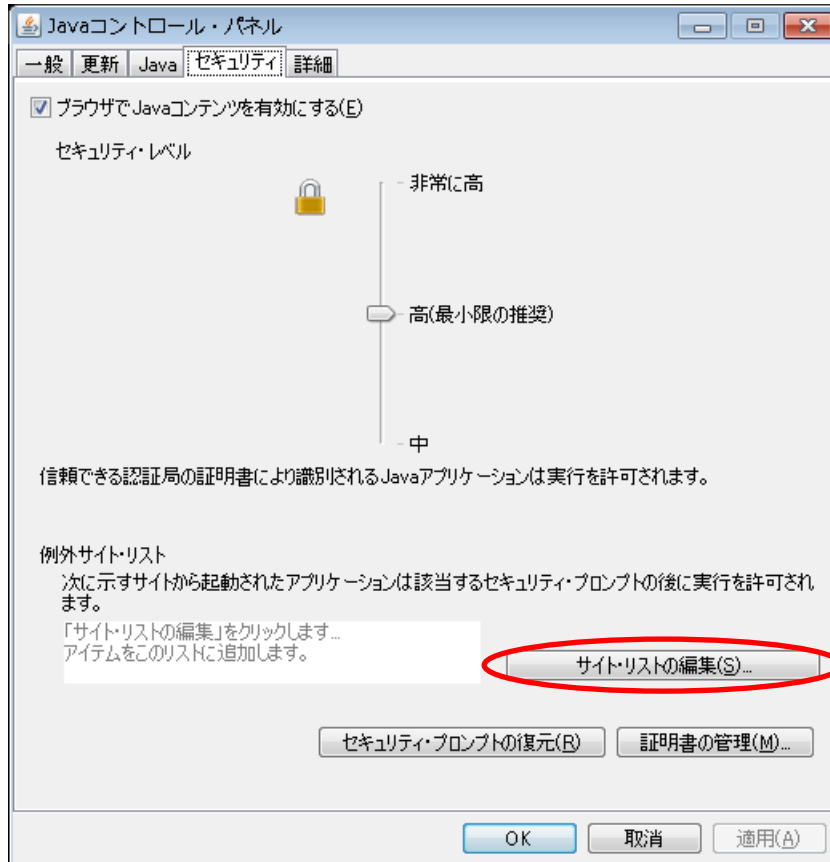
【手順 1】

Java がインストールされた環境のコントロールパネルより Java を選択し、Java のコントロールパネルを開きます。



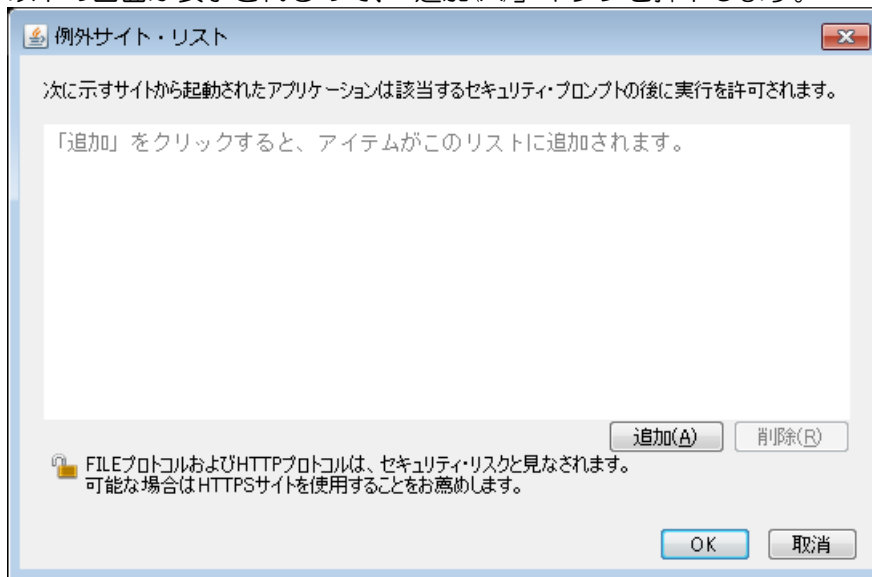
【手順 2】

セキュリティタブを選択し、「サイト・リストの編集(S)...」ボタンを押下します。



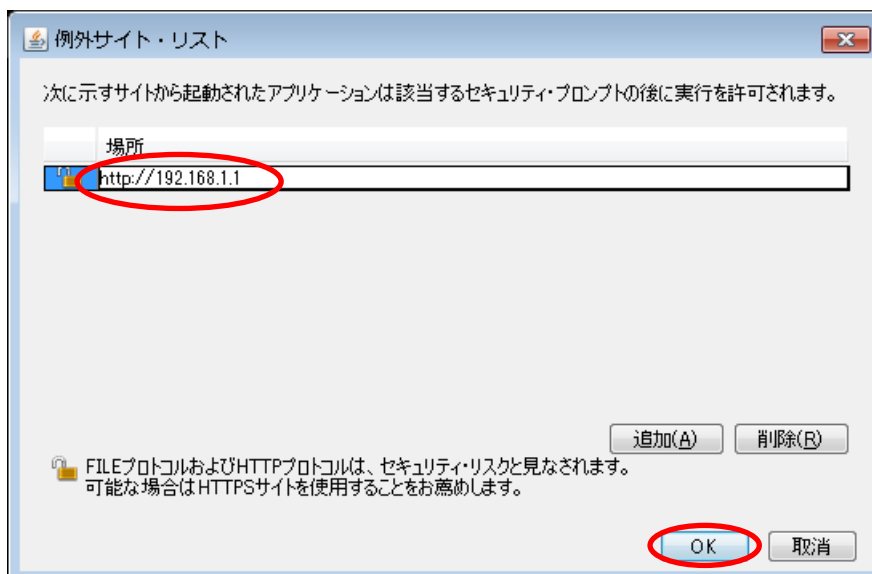
【手順 3】

以下の画面が表示されるので、「追加(A)」ボタンを押下します。



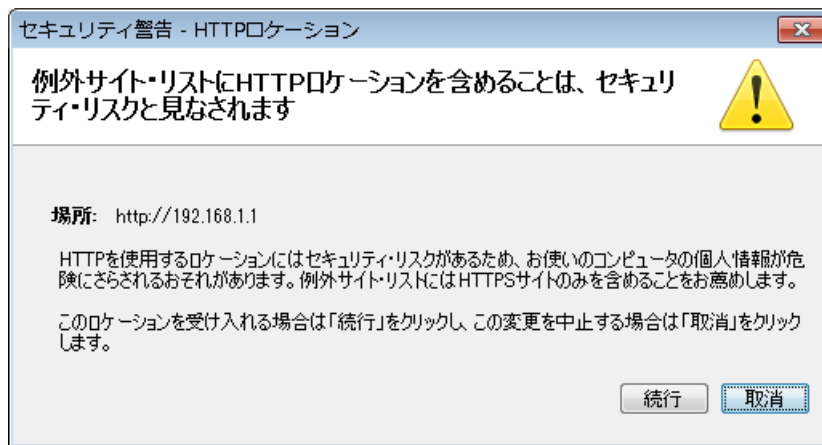
【手順 4】

場所に [http://接続対象の装置の IP アドレス](http://192.168.1.1) を入力して、OK ボタンを押下します。



【手順 5】

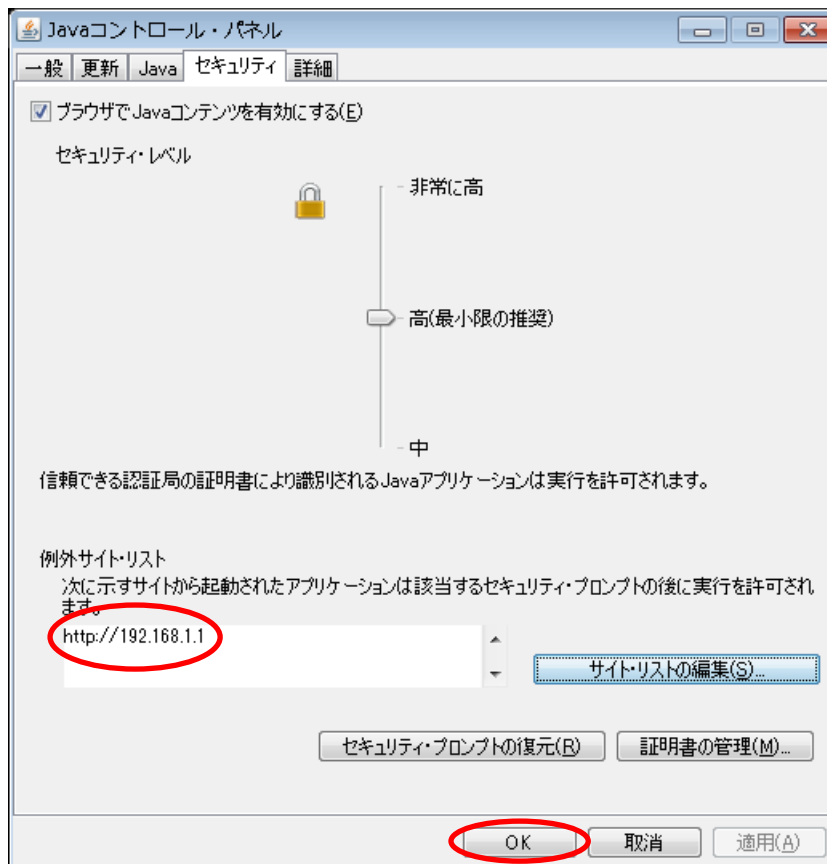
以下の画面が表示されますので、続行ボタンを押下します。



【手順 6】

例外サイト・リストに入力した接続対象の装置の IP アドレスが表示されていることを確認します。問題なければ、OK ボタンを押下します。

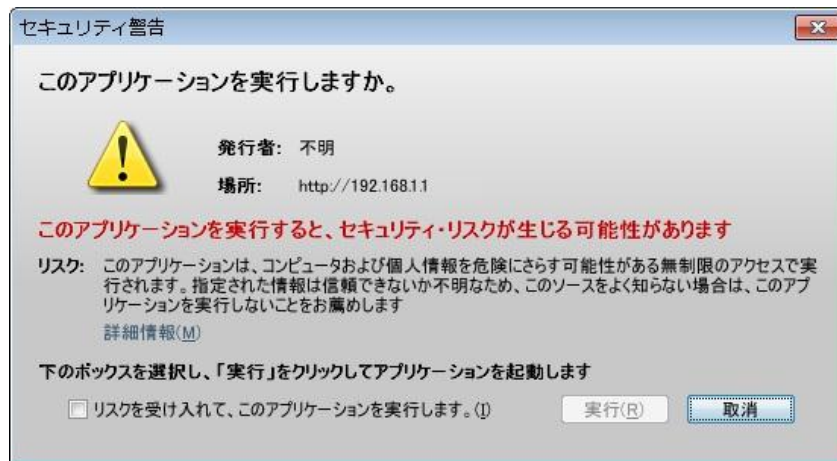
以上で設定は完了です。



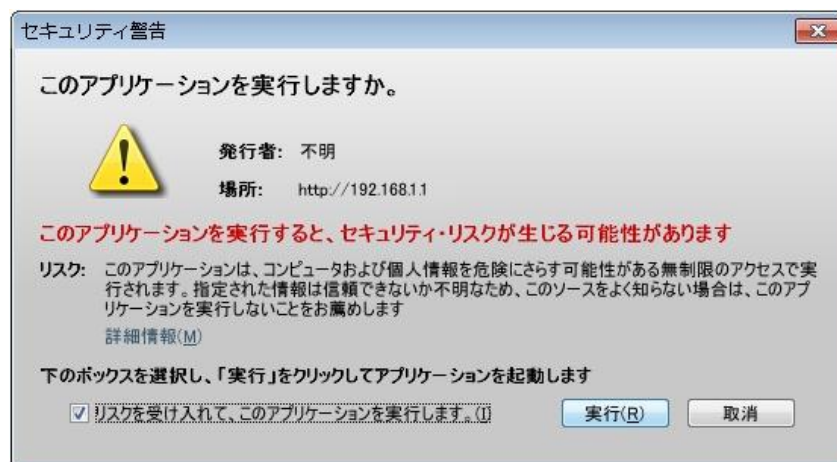
(例外設定後のリモート管理インタフェースへのアクセス方法)

上記の例外設定を行った場合、装置の IP アドレスにアクセスすると下記画面が表示されます。

「リスクを受け入れて、このアプリケーションを実行します」の左側にチェックを入れます。



実行ボタンが有効化されますので、実行ボタンを押下します。



装置のログイン画面が表示されます。

保護紙

（このページは意図的に空白にしています）